

授業科目名	野外活動・スポーツ概論	単位数	2単位
担当教員名	西垣景太	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 野外活動の種類や活動を行う上での基礎的知識を理解する。 (2) 野外活動の安全管理に関する知識や参加者の交流を促す仕組みづくりを理解する。 (3) 野外活動の実践例を検討し、必要な準備・計画を立てることができる。			
授業の概要			
野外活動の活動内容を模索し、現代にあった野外活動の実践、さらに対象者に応じた野外活動の在り方を検討する。野外活動の目的として、自然とのふれあいや体験の中での様々なスキルの習得、心身の健康への影響も期待される。実践することを想定し、野外活動の基礎知識の習得ならびに、安全管理やリーダーシップ・レクリエーションに関する内容も踏まえ、野外活動の計画を立てる力を身につけることを目的とする。			
授業計画			
第1回. 野外活動の種類や施設 第2回. 野外活動の目的と実施することで期待される効果 第3回. 野外活動における安全配慮1 第4回. 野外活動における安全配慮2 第5回. 野外活動での基礎的スキル1 第6回. 野外活動での基礎的スキル2 第7回. 野外活動の計画・立案1 第8回. 野外活動の計画・立案2 第9回. 野外活動におけるチームビルディング1 第10回. 野外活動におけるチームビルディング2 第11回. 野外活動における社会的スキルの獲得1 第12回. 野外活動における社会的スキルの獲得2 第13回. 教育現場での野外活動 第14回. 目的・対象者に応じた野外活動 第15回. 目的・対象者に合わせた野外活動の立案・ワーク定期試験			
スクーリングでの学修			
第1回から第15回全ての内容を横断的に含む。 （主に、第1回から第4回までの背景と第9回から第12回の実践的取り組みの内容を含む。）アクティブラーニングの手法を用いた授業展開を実施する。			
テキスト			
特に指定しない。Googleクラスルームにて、資料を掲載する。			
参考書・参考資料等			
澤村 博・近藤 克『これからのレジャー・レクリエーションー余暇社会に向けてー改訂3版』ポラーノ出版 2016年 その他、必要に応じて紹介する。			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			